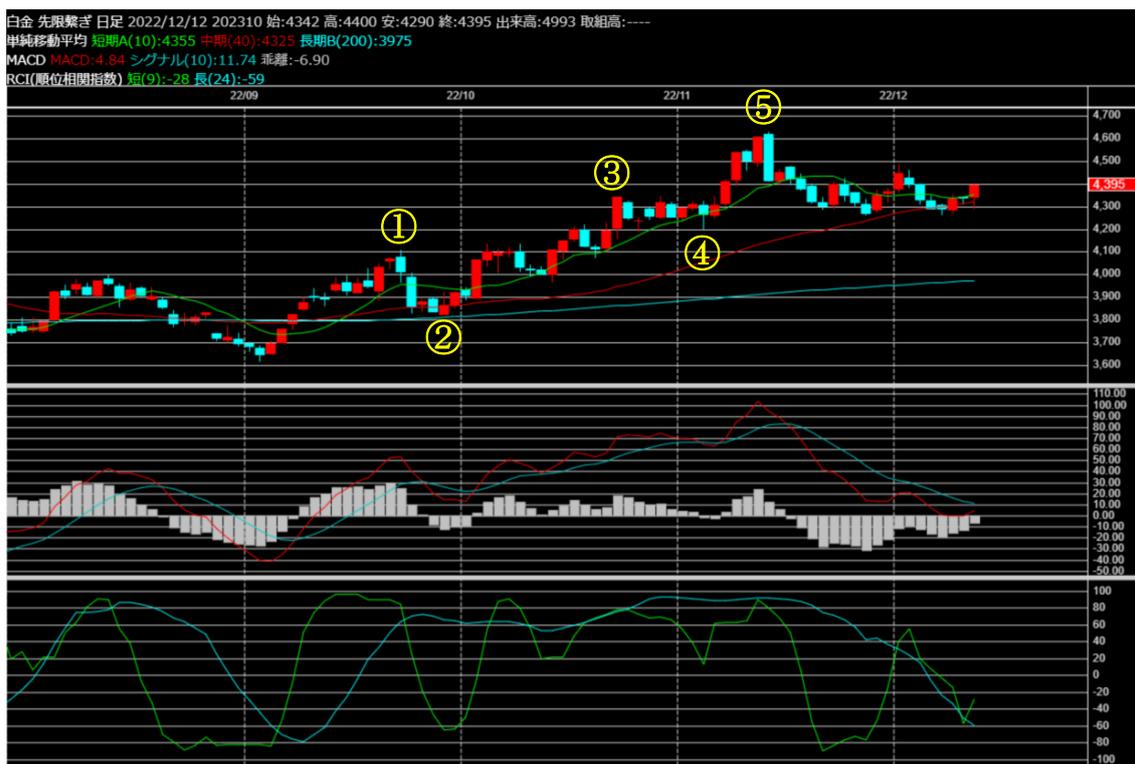


<白金標準先物、4263 円の W ボトムを示唆し 4489 円へ・・・>



(出所：オアシス)

中国政府のゼロコロナ政策の責任者である孫春蘭副首相は、国家衛生健康委員会および専門家らと会合を開き、新型コロナとのわれわれの闘いは新たな段階にあり、新たな課題と向き合っていると発言し、ゼロコロナを意味する「動態清零」という言葉を使っていない。また国家衛生健康委員会は 10 項目のゼロコロナ政策の規制緩和を発表しており、厳格な行動規制が解除されている。

またプラチナ生産国である南アフリカでは、国営電力会社エスコムがグレートフレイ発電所の 2 つの発電タービンに、5 つの発電所で故障が発生し、4984MW の計画メンテナンスと故障で 1905MW が使用できなくなり、鉱山に対する電力供給が制限を受ける水準であるステージ 6 の負荷制限を発表している。特に世界 NO2 のプラチナ鉱山であるアングロ・アメリカ・プラチナは、2023 年の PGM 生産を、従来の 127 トン～139 トンを 111 トン～124 トンへ下方修正を発表、コスト面でも同社は高いレベルのインフレコスト圧力を経験しており、1 オンス：950 ドルと発表している。そのため NY 白金が 1000 ドルで底張りを示しており、白金標準先物も 4263 円でダブルボトムを形成し、4489 円へ向けた上昇が強まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD の下げ止まりとシグナルの下落で乖離が縮小し、RCI では短期が反発し、長期は下げている。特に日足が 10 日移動平均線や 40 日移動平均線で抵抗を示唆しており、4350 円以下には下げ渋る傾向が示されると予想され、強気を維持しながら 4489 円へ向けた値動きが強まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,075,000 円(2022 年 12 月 12 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 12 月 12 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>